

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	音楽と社会 (Music and Society)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	音楽する人一人の多様な感性や音楽的行動と社会との関わりを知る		
担当者名 (Instructor)	横井 雅子(YOKOI MASAKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この授業では世界の人々の歴史と生活を彩ってきた音楽(伝統音楽、俗に“民族音楽”として知られるもの、大衆音楽)や芸能のありさまを、地域や民族、時代との関わりを通して考察する。
音楽について学ぶが、必ずしも音楽そのものだけがフォーカスされるのではなく、その周辺にあるものにも広く目を向ける。

In this course, we will consider the music that has colored the history and lives of the people of the world (traditional music, what is known commonly as “ethnic music”, popular music) and the state of performing arts through its relationship with regions, ethnic groups, and eras.

Students will learn about music, but rather than just focusing on the music itself, will also look broadly at the elements around it.

授業の内容(Course Contents)

さまざまな地域の音楽や芸能にかかわる読み切りのテーマを設け、多くの音源、映像資料を通して当該テーマの理解を深めることをめざす。回により、音楽的側面、社会的側面、文化的側面、関連領域との関わりなどをクローズアップする。受講生が事象としての音とそれが発せられている様子や社会との関わりを通して対象を理解する手助けとしたい。

Basically, the classes will take the form of lectures. We will provide themes of readings related to music and entertainment in various regions, and the aim is to deepen students' understanding of these themes through many sound sources and video materials. We will look closely at the relationships between musical aspects, social aspects, cultural aspects, and related areas in each class. We would like to help students understand the subject through sounds as phenomena and the appearance of how they are emitted.

授業計画(Course Schedule)

1. 音楽的感性を知り、音楽をすることの意味を考える
2. 歌う人一人が歌うことの意味を考える
3. なぜ楽器は作られるのか一人が楽器によってめざすもの
4. 自然と音楽—自然の表象としての音楽
5. 信仰と音楽—神の音像としての音楽・芸能
6. 職能としての音楽—音楽を専業とする人々と伝承
7. 身体動作と音楽—舞踊と手を携える音楽
8. パフォーミング・アーツ①
9. パフォーミング・アーツ②
10. 移植される音楽—時代と地域で変容を遂げる音楽
11. アイデンティティとしての音楽—ディアスポラ文化
12. 観光化と音楽・芸能
13. 伝統音楽とポピュラー音楽—ローカルからグローバルへ
14. 現代における伝統音楽の意味を考える

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

音楽を専門とする学生はほとんどいないと考えられ、特に知識を積むための授業でもないが、先入観や個人的な好みから離れて、さまざまな音楽をまずは聴いてみようという姿勢を尊重したい。授業の中で取り上げた例や関連する音楽を自発的に聴きなおす、あるいは探すことをぜひしてほしい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

各回のチェックシート(100%)

テキスト(Textbooks)

各授業回に資料を配布する。必要に応じて参考資料も添付する

参考文献 (Readings)

参考資料は各回の資料の中で必要に応じて紹介する

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

初回授業で実施の詳細を説明する

注意事項 (Notice)